



R2020 CAMPUS IMPROVEMENT REPORT

R 2 0 2 0 キャンパス 整 備 報 告 書



RITSUMEIKAN

立命館



CONTENTS



ごあいさつ	2
学園ビジョン R2020	3
キャンパス整備の基本目標	4
キャンパスマスター・プランの理念	
キャンパス整備の空間コンセプト	
キャンパスマスター・プランの基本方針	
学生・教職員・地域の方々によるキャンパス整備	6
学生・教職員が参画する一体的なキャンパス整備	
市民参加型の緑地管理・農園の運営	
R2020整備年表	8
京都キャンパス	10
衣笠キャンパス	
朱雀キャンパス	
びわこ・くさつキャンパス	18
大阪いばらきキャンパス	26
立命館アジア太平洋大学	32
附属校	36
立命館中学校・高等学校	
立命館宇治中学校・高等学校	
立命館慶祥中学校・高等学校	
立命館守山中学校・高等学校	
立命館小学校	
新型コロナウイルス感染症対策	40
R2020整備項目一覧	42
受賞歴	44

写真:エントランスホールより外を眺める
(平井嘉一郎記念図書館)



学校法人立命館 理事長

森島 朋三

立命館では、2020年の学園像「学園ビジョンR2020」の実現のため、2011年から取り組みを進めてまいりました。この10年の間に、大阪いばらきキャンパスを開設し、新たに3つの学部と2つの研究科を設置しました。学園は国際化戦略のもと、大学・附属校においてグローバル化を推し進め、立命館大学、立命館アジア太平洋大学は「スーパーグローバル大学創成支援事業」に採択され、中間評価で高い評価を得ました。附属校においても「スーパーグローバルハイスクール」や「ワールド・ワイド・ラーニング」事業の拠点となるなど、一貫教育をとおしてグローバル化を展開してきました。また、研究においては科学研究費補助金の採択件数、配分額ともに上位に位置し、大型学外資金を獲得し、総合的な研究力を有する総合私立大学として着実に力をつけてきていることを示しています。

R2020を目指した大学・学園改革は、先述した改革を支える施設整備をともなうものでした。とりわけ立命館大学において、校地面積における学生比率の解消とST比の改善、中小教室の充実、そして、1980年代後半から推進してきた改革による施設のリニューアル工事にも取り組んできました。また、立命館中高は深草から長岡京に移転し、新たな歩みを進めています。

立命館は、今後もさらなるグローバル化を一層進め、優れた国内外の学生・生徒が集うダイバーシティに溢れた学園をめざします。



学校法人立命館 総長
立命館大学長

仲谷 善雄

立命館学園は「学園ビジョンR2020」において、①国際社会と地域に貢献する開かれた学園づくり、②学びのコミュニティと学習者中心の教育、③特色あふれるグローバル研究大学の推進、④教育力・研究の質を向上する環境の維持、⑤教育研究機関としての立命館の役割の5つを目標としました。R2020前半期では、「学習者が中心となる教育」を実現するためのキャンパス創造と整備に重点をおき、後半期では、多様なコミュニティにおける主体的な学びの展開を実現する「学びの立命館モデル」の確立を推し進めてきました。

立命館大学では、3学部、2研究科を新たに設置し、大阪いばらきキャンパスの開設や京都キャンパス、びわこ・くさつキャンパスの再整備など、キャンパスマスター プランに沿って教育、研究、学生生活を支える施設・設備の拡充とリニューアルに取り組んできました。また、各キャンパスの整備で重視した「コモンズ」や「ぴあら」の開設は、正課を問わず、学生同士が多様なコミュニティにおける学び合いを共有できる場として活躍しています。

学園ビジョンR2030への移行期においては、コロナ禍によるDXを活用した新たな教育方法を導入し、そのための情報基盤の整備を行いました。今後も皆さんの学ぶ意欲に応えるべく、授業の質的転換や、研究力につながる教学展開を追求していきます。

学園ビジョン R2020

Creating a Future Beyond Borders

自分を超える、未来をつくる。

人類と地球の、持続可能で平和な未来をつくるために。

私たちは、私たち自身の、組織の、地域や国の、制度の、さまざまな“Border”を超え、その力を発揮し、未来に貢献するスピリットあふれる学園になることをめざします。

自分を超える。

「自分」とは、一人ひとりの個であり、個が所属するさまざまな集まりでもあります。

立命館学園での学びをとおして、互いの価値を認めあいながら、それらが抱える境界や限界など既存の枠を超えて踏みだすことでの可能性をひろげていきます。

未来をつくる。

私たちは、多様なコミュニティをつくり、つながり、新しい価値を創造しながら、一人ひとりが自らの未来をつくりだすとともに、一人ひとりが未来の確かな力となる学園をつくります。

R2020 3つの指標

多様なコミュニティにおける主体的な学びの展開

人類・自然・社会に貢献する立命館らしい研究大学への挑戦

学ぶことの喜びを実感できる学園づくり

R2020 基本目標

国際社会と地域に貢献する開かれた学園へ

学びのコミュニティと学習者中心の教育を

特色あふれる「グローバル研究大学」へ

教育力・研究の質向上を支える環境の維持を

教育・研究機関としての立命館の役割 —東日本大震災をうけて—

キャンパス整備の基本目標

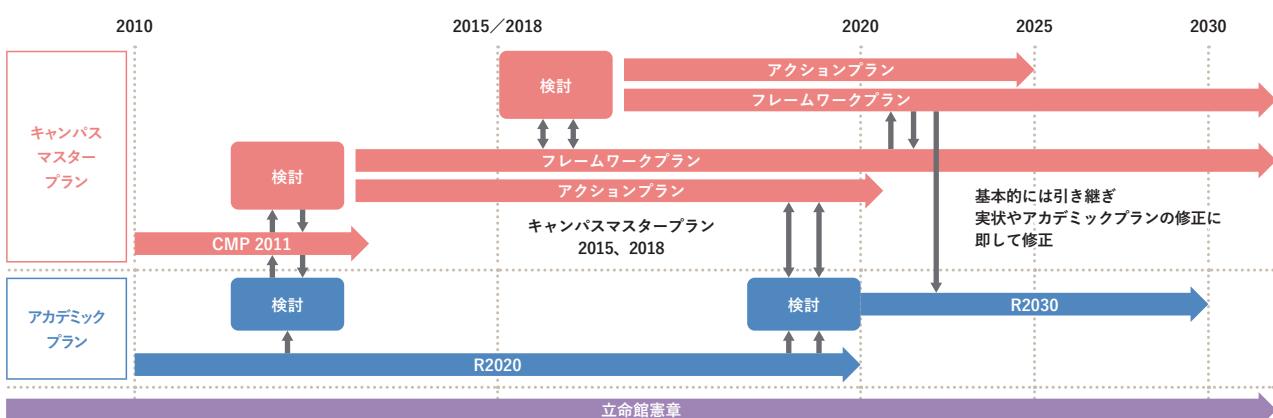
■ キャンパスマスタートップランの理念

私立総合学園である立命館が、立命館憲章に謳われているように、教育・研究機関として世界と日本の平和的・民主的・持続的発展に貢献するため、その活動フィールドとして国内外に誇れるキャンパスを創造することをめざしたキャンパスマスタートップランを策定する。

キャンパスマスタートップランの運用指針

キャンパスマスタートップランは、アカデミックプランを支え、中長期的な視点で良好なキャンパス環境を実現するために、キャンパス計画のビジョンやフレームワークを定めるものであり、具体的なアクションプラン策定の際の指針として運用する。

また、キャンパスマスタートップランは、アカデミックプランや経営戦略などの時代に応じた変化に対応するため、定期的(概ね5年程度)に更新を行なながら継承されるものである。(立命館大学びわこ・くさつキャンパスマスタートップラン2015 Ver.1、立命館大学京都キャンパスマスタートップラン2015 Ver.1より一部抜粋)



建設事業に求められる時間を考えアクションプランのベースとなるフレームワークプランは15~30年スパンを見据えつつ、アクションプランと同じ5年サイクルで確認、更新する。

図: キャンパスマスタートップランの時間軸の流れ

キャンパスマスタートップランの構成

- フレームワークプラン 中長期(15~30年後)のキャンパス像を想定したゾーニングや交通計画などに関するビジョン
- アクションプラン 短期(5年程度)を想定した施設整備の実行計画

■ キャンパス整備の空間コンセプト

キャンパスは教育・研究活動のフィールドであるとともに、多様なコミュニティ形成を支える空間である。優れた学生や研究者を育成する環境として、国内外・地域への発信・貢献・連携の場として、立命館大学の基本目標である総合的人間力の育成やグローバル研究大学の実現に向け、教育・研究・学生生活を支えるキャンパスづくりをめざす。

立命館大学におけるキャンパス計画・整備の役割や目的を共有しやすいよう、全キャンパス共通の空間コンセプトを次のように設定する。

1. 多様なコミュニティ形成を支える空間整備
2. 優れた学生・研究者を育成する国際基準の教育・研究・文化・スポーツ環境整備
3. 高いQOLを支える優れたアメニティや自然環境・エコロジー・防災への配慮
4. 国内外・地域への発信・貢献・連携の場の整備とシステムの構築
5. 歴史・文化的コンテキストを踏まえたキャンパス計画

■ キャンパスマスター・プランの基本方針

キャンパス計画・整備の空間コンセプトを実現するための基本方針を次のように設定する。

①全学的協力体制による、学生・教職員が参画する一体的なキャンパス整備

検討プロセスにおいて、学生・教職員（課題に応じて地域の方々）など、多くの関係者が参画する機会を設け、できる限り多くの意見を聞き、ともに考え、行動する。

②キャンパス資源（敷地・施設など）の有効活用

既存施設の有効活用が重要な前提条件となる。既存キャンパスにおける活用可能面積は限られており、新たなスペースの確保は難しいのが現状である。そのため、キャンパスの有効活用を検討する際は、以下に示すような検証が重要となる。

- 現状の施設利用状況や課題の共有
- 教学・研究活動などにおいて求められる機能の把握
- 前例のない整備課題についての可能性検討
- 利用状況の変化に伴う床面積やゾーニングの最適化
- キャンパス計画および整備方針の共有
- 管理・運営ルールの点検および見直し

③教育・研究環境の再編／集約

- 学部エリア
- 学部連携エリア
- 全学共有エリア

④緑地と連動したコミュニティースペースの再編

⑤立命館ステイタス

魅力的で充実した学生生活を支える施設の質の向上と再整備

⑥都市の一部としての社会的な役割を果たす大学キャンパスの整備

⑦継続・更新・発展する大学経営を支えるファシリティマネジメント

⑧計画・管理・評価体制の確立

⑨各部局が施設計画などの立案・執行の際に常に引用する手引き・指針としての位置づけ

各学部教学や研究の将来構想や各部局の適切な役割を共有しながら、施設計画などの立案・執行の際に引用可能な手引き・指針としてキャンパスマスター・プランを位置づける。

出典：京都キャンパスマスター・プラン2015 Ver.1、びわこ・くさつキャンパスマスター・プラン2015 Ver.1、大阪いばらきキャンパスマスター・プラン2018 Ver.1

キャンパスマスター・プランの公開



3キャンパスのキャンパスマスター・プラン冊子



立命館キャンパス計画WEBでキャンパスマスター・プランを公開



立命館キャンパス
計画WEBサイト



学生・教職員・地域の方々によるキャンパス整備

学生・教職員が参画する一体的なキャンパス整備

検討のプロセスにおいては、学生・教職員（課題に応じて地域の方々）など、多くの関係者が参画する機会を設け、できる限り多くの意見を聞き、ともに考え、行動します。整備計画に関するワークショップやコンペを通じて関係者が主体的に考え、協力することによって、ともにキャンパス像を築きます。

キャンパスマスターplan策定時の検討

[京都キャンパス(衣笠キャンバス・朱雀キャンバス)/びわこ・くさつキャンバス]



左:若手懇談会の様子／中央:作業グループのワークショップの様子／右:ワークショップにおけるまとめ(一例)

学生コンペ・ワークショップ

[衣笠キャンバス／びわこ・くさつキャンバス]



上段左:学生ワークショップの様子(衣笠キャンバス東側広場)／上段中央:学生ワークショップの様子(スポーツ健康コモンズ)／上段右:学内学生コンペ実施により整備されたストリートファニチャー(ATM跡地)／下段左:学生有志による外装デザイン検討の様子(アクトα)／下段右:学生ワークショップで提案された設計案(キャンパスプロムナード・緑地整備)

| 市民参加型の緑地管理・農園の運営 |

大阪いばらきキャンパスでは、開設以前の計画段階からの取り組みとして「育てる里山」「ガーデニング」の2つのプロジェクトを展開し、市民参加による緑地の創造と管理を継続しています。

育てる里山プロジェクト

[大阪いばらきキャンパス]

茨木市千提寺の高速道路整備対象地であった山地から実生(種から芽生えた若木)を採取し、キャンパス内に移植することで、数十年後に里山を再現することをめざした取り組みです。同様の目的をもつ茨木市内の複数の里山保全活動市民団体の参画を得て活動しています。



ガーデニングプロジェクト

[大阪いばらきキャンパス]

キャンパス開設に先立ち、立命館大学の教員を指導者として地域の方々と学生によるガーデニングクラブ「トレフル」を立ち上げました。キャンパス内に設けた5つのガーデニングエリアにそれぞれテーマを設定し、テーマに応じた四季折々の草花を植え育てています。草花の手入れや多様な活動を通して会員相互の親睦を深めており、一般向けガーデニング講座や、学外のガーデニング施設への見学ツアーやによる勉強会も行っています。



きぬがさ農園(農園サークル「Kreis(クライス)」)

[衣笠キャンパス]

2020年5月、「落葉の腐葉土化とその活用」に取り組むにあたり、衣笠キャンパスの西側に位置する旧聖ヨゼフ修道院跡地に「きぬがさ農園」を整備し、有志学生と事務局で農園サークル「Kreis(クライス)」を立ち上げました。地域の方々や退職者を含む教職員とともに、衣笠キャンパスの落葉の腐葉土化、きぬがさ農園での野菜づくりと花の栽培に取り組んでいます。



R2020整備年表

2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016

京都キャンパス(衣笠キャンパス・朱雀キャンパス)

● 研心館改修 トイレリデザイン 入口自動扉化	● 京都衣笠体育館 (第1期)竣工 ● 教室改善 什器入替 デジタル化対応	● 京都衣笠体育館 (第2期)竣工 ● 洋洋館改修 2~3階トイレリデザイン ● 創思館改修 遠隔講義室改善 空気環境改善 無線LAN受信エリア拡張	● 究論館竣工	● 国際寮 (インターナショナルハウス大將軍)竣工 ● 平井嘉一郎記念図書館 竣工 ● 明学館地階教室改修 中教室可動化	● 学而館改修 学びステーション整備・ 教室整備等 ● 明學館改修 大教室分割・ 1F国連寄託図書館 跡地教室化 ● 東側広場整備 旧図書館跡 ● 教室番号設定 サイン表示更新
-------------------------------	---	---	---------	---	--

びわこ・くさつキャンパス

● 國際寮(BKCインターナショナルハウス)竣工 ● プリズムハウス改修 エクステンションセンター改修・入口自動扉設置 ● 教室改善 デジタル化対応 遠隔講義室改善 無線LAN受信エリア拡張	● トリアシア竣工 ● 課外活動施設(アクトα)改修 コラーニングハウスⅢ ● 教室改善 デジタル化対応 遠隔講義室改善 無線LAN受信エリア拡張 ● プリズムハウス改修 廊下・トイレリデザイン ● リンクスクエア 食堂什器更新 ● セントラルアーク前 藤棚・屋外ベンチ整備 ● メディアセンター 玄関自動ドア整備	● バイオリンク竣工 ● コーニングハウスⅡ改修 創薬科学科施設整備 ● メディアライブラリー 入口自動扉化 ● 危険物倉庫増設(2棟) ● ユニオンスクエア横(旧ATM跡地)のアメニティ化整備	● リンクスクエア改修 2階トイレリデザイン ● フォレストハウス改修 トイレリデザイン ● サイエンスコア改修 2階学生実習室拡張	● スポーツ健康コモンズ竣工 ● 屋外コモンズ／屋外什器整備 フロンティアアベニュー
---	---	---	---	--

大阪いばらきキャンパス

		● 大阪いばらきキャンパス開設	● 総合心理学部開設 A棟6階 ● OICフィールド・F棟 ホッケー場整備
--	--	-----------------	--

立命館アジア太平洋大学

		● Quiet Space設置 E棟2階
--	--	-------------------------

附属校

	● 長岡京キャンパス開設 立命館中学校・高等学校
--	-----------------------------

●存心館全面改修 ●存心館食堂リニューアル ●興学館全面改修 ●学生会館耐震補修 (カフェ「ゆんげ」改修) ●西側広場(諒友館前) オーニング整備	●立命館みらい保育園きぬがさ 開設 至徳館2階 ●尚学館改修 トイレリデザイン ●至徳館改修 玄関自動扉化・階段手摺増設 ●研心館改修 学生オフィス入口自動扉化 ●西園寺記念館改修 バリアフリー宿泊室整備 ●グローバルコモンズ(BBP)開設 旧ランゲージセンター	●清心館全面改修 ●明学館改修 トイレリデザイン ●志学館改修 トイレリデザイン	●啓明館全面改修 ●ブロック塀対策など 敷地境界部のリデザイン 衣笠キャンパス周辺 ●尽心館改修 廊下・トイレリデザイン ●新型コロナウイルス感染症対策	
●プリントステーション設置 アクロスウイング コラーニングハウスI リンクスクエア フォレストハウス セントラルアーク ●学生課外施設(アクトα)改修 コラーニングハウスIII	●食マネジメント学部開設 コラーニングハウスII (1階外構、3階、4階) ●コモンズ整備 アクロスウイング1階 (トイレリデザイン含む) ●立命館みらい保育園びわこ 開設 コアステーション2階 ●コアステーション改修 1階正面玄関自動扉化 階段手摺増設 ●ユニオンスクエア改修 トイレリデザイン ●コラーニングハウスI改修 東側トイレリデザイン ●リンクスクエア改修 1階トイレリデザイン ●メディアセンター改修 トイレリデザイン ●BKCジム改修 天井落下防止対策 トイレリデザイン ●中央熱源設備更新 (コアステーション) ●理工学部80周年モニュメント 設置 ●グローバルコモンズ(BBP)開設 セントラルアーク2階	●BYOD環境整備 クリエーションショア ※情報理工学部にて 先行整備 ●コラーニングハウスI改修 西側トイレリデザイン ●アドセミナリオ改修 トイレリデザイン ●イーストウイング改修 1階トイレリデザイン ●ウエストウイング改修 1階トイレリデザイン ●コアステーション改修 トイレリデザイン ●ヨット部艇庫竣工 (滋賀県大津市柳が崎)	●シーキューブ改修工事 シーキューブホール改修 ●イーストウイング改修 5～7階トイレリデザイン ●ウエストウイング改修 5～7階トイレリデザイン ●新型コロナウイルス感染症対策	●緑地整備 キャンパスプロムナード
●国際寮(OIC インターナショナルハウス) 茨木商工会議所跡 ●心理・教育相談センター開設 リザーブスペース内 ●グローバルコモンズ(BBP)開設 A棟1階 AN事務室 4階SALL	●グローバル教養学部開設 A棟5階 ●分林記念館(G棟)竣工		●新型コロナウイルス感染症対策	
●トイレリデザイン F105教室横トイレ	●緑地整備 Sakura Sky Garden ●トイレリデザイン E棟1階トイレ ●マイボトル給水機設置	●時待場(I棟)竣工 バスターミナル複合施設 ●新型コロナウイルス感染症対策		
●ICT教室整備 (2017～2020年度) 立命館守山中学校・高等学校	●「Co-Tan」竣工 立命館慶祥中学校・高等学校	●ICT教室整備 立命館小学校	●新型コロナウイルス感染症対策	●C棟竣工 立命館宇治中学校・高等学校

KYOTO CAMPUS

京都キャンパス [京都]

衣笠キャンパス／朱雀キャンパス



朱雀キャンパス

2006(平成18)年に開設しました。平安京時代からの京都の中心部である朱雀大路上に位置し、JR二条駅・京都市営地下鉄東西線二条駅・各種路線バス停に近く、交通アクセスの良い環境です。



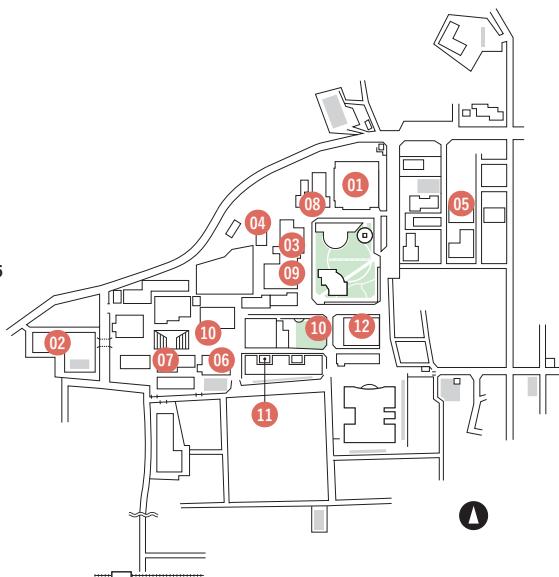
衣笠キャンパス

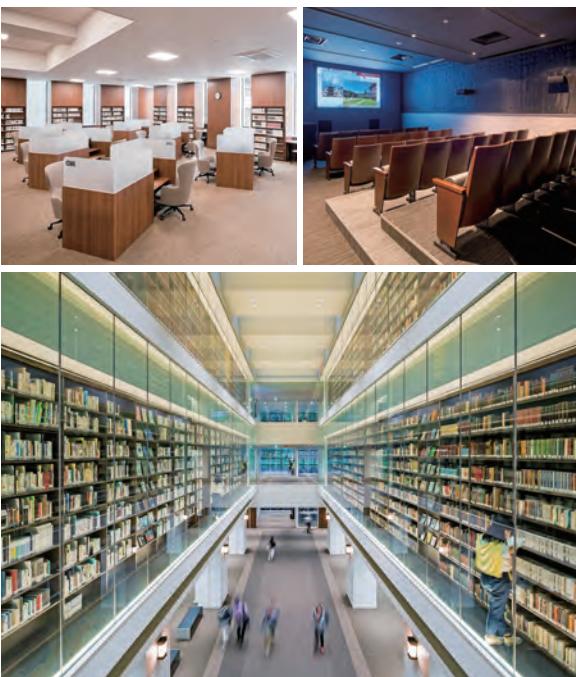
1981(昭和56)年に広小路から全面移転し、学舎の統合がはかられました。京都市北西部に位置し、衣笠山を背景にした緑豊かな地域です。キャンパス北側には金閣寺と龍安寺をつなぐ「きぬかけの路」が隣接し、多くの観光客が訪れます。

整備マップ

衣笠キャンパス

- 01 平井嘉一郎記念図書館 P.11
- 02 京都衣笠体育館 P.11
- 03 存心館 P.12
- 04 興学館 P.12
- 05 究論館 P.12
- 06 清心館 P.13
- 07 啓明館 P.13
- 08 学生会館 P.14
- 09 存心館食堂 P.14
- 10 屋外コモンズ／屋外什器整備
(東側広場、西側広場、中央広場) P.14
- 11 グローバルコモンズ (BBP) P.15
- 国際寮
(インターナショナルハウス大将軍) P.15
- 教室整備 P.16
- バリアフリー整備 P.16
- トイレリデザイン P.16
- 12 立命館みらい保育園きぬがさ
(至徳館2階) P.17
- ブロック塀対策など
敷地境界部のリデザイン P.17





平井嘉一郎記念図書館

立命館名誉館賓 故平井嘉一郎様、ご令室・平井信子様によりご寄付をいただき建設されました。大学の顔となる「正門周辺ゾーン」、ミュージアム・ライブラリ・アーカイブなどが集まる「北側ゾーン」に位置し、「大学の顔として相応しい雰囲気を感じられる風格を持たせる」、「広場や歩道を確保し、安全・安心に配慮する」、「大学や学部を超えた多様な学び・交流・活動の場とする」ことを考慮して計画されました。「学びが見える、学びに触れる、学びあえる」を主なコンセプトに、学術情報の拠点・教育研究活動を支える図書館として、学内外の研究会や表彰式、ポスター・セッションなどの行事が可能なカンファレンスルーム、学術研究や学びの成果などの情報、図書館所蔵の貴重な映像が発信可能なシアタールーム、将来的な拡張も可能な100万冊の資料を収容する自動書庫を設置しています。主体的な学びを形成するための場として、自主学習を支援するキャレルデスク、共同学習を支援する“びあら”、リラックス空間・交流の場としてのカフェなど多様なスタイルの学習環境を整備しました。

01 平井嘉一郎記念図書館

新築
●延べ面積:14,585.27m²(閲覧室面積約7,800m²) ●階数:地下2階 地上3階 ●構造:鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造および鉄骨鉄筋コンクリート造 ●着工:2014年1月
●供用開始:2016年4月

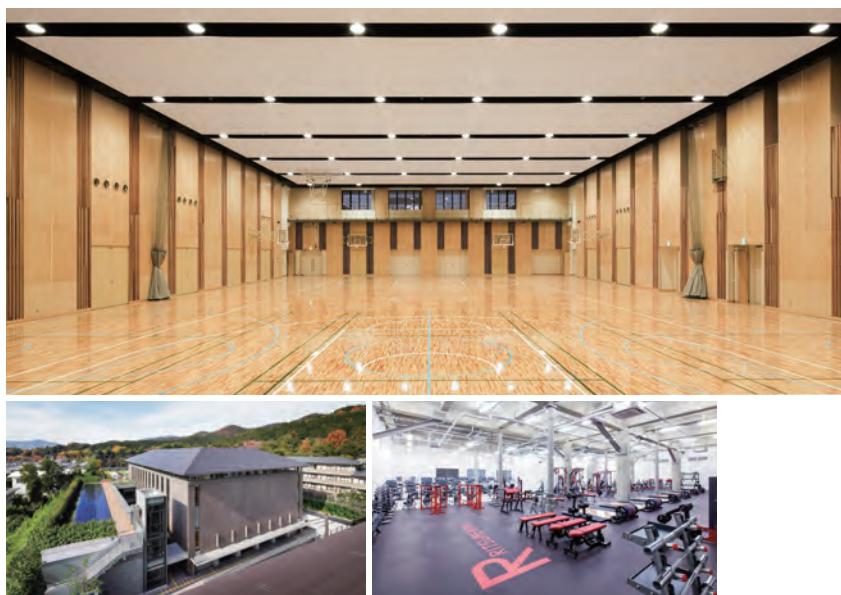
京都衣笠体育館

キャンパス整備計画のもと、これまで衣笠キャンパスにあった2つの体育館の機能を統合し、より多くの学生による高度な活動を可能とするために建設されました。3つのアリーナ・柔道場・格技場やトレーニングルーム・クラブボックスなどを備え、体育会の学生とともに、多くの学生が利用する体育施設となっています。設計コンセプト「人と地球のエネルギーを最大化する体育施設」のもと、第3アリーナ屋上には、屋上緑化と太陽光発電パネルを設置、外光・通風を積極的に取り込み、設備負荷を低減した、人に優しい空間を実現しています。

02 京都衣笠体育館

新築

●延べ面積:8,240.65m²(第1期) 1,182.57m²(第2期) ●階数:地下2階、地上2階、塔屋 ●構造:鉄骨鉄筋コンクリート造、一部 鉄骨造・鉄筋コンクリート造 ●着工:(1期)2011年2月(2期)2013年2月 ●供用開始:(1期)2013年2月(2期)2013年11月 ●補助金:国土交通省 第2回住宅・建築物省CO₂先導事業(H22年度)



存心館・興学館

法学部教学の充実および全学の学びの立命館モデルを促進する教学条件の改善、コモンズ機能の充実やマルチプル・ラーニング・コモンズの具体化、学部基本施設としてのアメニティ(廊下・階段・トイレなど)の改善・向上、地階食堂の改修を行いました。各教室の機能にあわせてカラースキームを工夫し、廊下・ホールは空に近づくようなイメージで、上階に行くほど床の色を明るくしています。

改修

03 存心館

●延べ面積:10,055.67m² ●階数:地上4階、地下1階 ●着工:2017年4月 ●供用開始:2018年3月 ●補助金:国土交通省 既存建築物省エネ化推進事業(H28年度)

存心館は、立命館で初めて国土交通省の「既存建築物省エネ化推進事業」に採択され、BELS(建築物省エネルギー性能表示制度)による第三者認証を受けました。今回の改修により21%のエネルギー消費量の削減が見込まれます。

04 興学館

●延べ面積:741.0m² ●階数:地上2階 ●着工:2017年11月 ●供用開始:2018年3月

改修



左列上:存心館、左列中:興学館、左列下:興学館教室、右:存心館ラーニング・コモンズ「ろこも」

究論館

「究論館」という名前には、専門的な学問研究を究める大学院生活の場であってほしいという大学の思いが込められています。大学院固有の施設としては世界に誇れる規模と内容を持つリサーチコモンズを設置しました。同施設では、大学院生のための新しい研究環境を実現すべく、大学院生個々の研究を促進とともに、グループディスカッションや共同研究、研究成果の発信や共有、研究科や課程を超えた大学院生間の交流を促し、新たな「知」を創造する施設づくりを行いました。

05 究論館

新築

●延べ面積:3701.74m² ●階数:地上3階 ●構造:鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 ●着工:2014年4月 ●供用開始:2015年3月





コモンズ「RiLICC」

清心館

文学部の基本棟である清心館を全面的にリニューアルしました。学部・学域・専攻・クロスメジャーの枠組みを超えた「学びの実践と挑戦の空間」をコンセプトに、歴史ある外観の趣は残しつつ、ゾーニングを再編し、内装を一新。より多様で、より充実した教学を展開できる空間をめざしました。今回のリニューアル工事では、コモンズをはじめ、ICT設備の充実をはかるとともに、アクティブラーニングに対応可能な小教室を整備しました。また、研究成果の発表に対応可能な大教室、文学部の特色ある授業メニューに対応した機能的な教室(ラーニング

シアター・多目的教室)など、多様な教学の展開を可能にするバリエーション豊かな教室の整備も行っています。

06 清心館

改修
●延べ面積:7,483.75m² ●階数:地下1階、地上4階、塔屋1階 ●着工:2019年4月
●供用開始:2020年2月

清心館は、BELS(建築物省エネルギー性能表示制度)による第三者認証を受けました。今回の改修により41%のエネルギー消費量の削減が見込まれます。

啓明館

文学部の基本棟として、より多様かつ充実した教学を展開できる空間の整備をめざし、リニューアル工事を行いました。清心館と一緒にゾーニングを再編し、歴史ある外観の趣は残しつつ、内装を一新しています。キャンパスアジア・プログラム共同研究室の機能を受け継ぐ「学びの場」に連続し、世界各地から集まった留学生と「結びあう場」として、文学部の国際化に向けた活動の中核的機能を果たすラーニング・コモンズを設けました。また、一体化的にリニューアルした清心館のコモンズを含め、文学部コモンズとしての統一感と連続性を感じさせるデザインとしています。

07 啓明館

改修
●延べ面積:3,188.39m² ●階数:地上5階 ●着工:2020年4月 ●供用開始:2021年2月





カフェ ゆんげ



オープンファクトリー

学生会館

多様な学生の利用・交流を促す空間をめざし、学生の活動を発信・発表する機能の整備を行いました。キッチンを中心とした学生同士が気軽に交流をはかれるスペース、既存の間仕切りを取り払った開放的なスペースを実現することで、今まで以上に多様な活動が可能となります。また、いつでも誰でも、気軽に集まることのできるオープンラウンジや学生活動の発信・発表を促進するミュージックホールも新たに設けました。環境にも配慮し、照明器具のLED化による省エネルギー化やCO₂削減を目的とした各部屋の空調機の更新も行っています。

08 学生会館

改修

●着工:2017年5月 ●供用開始:2017年12月

食堂整備（存心館食堂リニューアル）

存心館の全面リニューアルによって改修された学生食堂。学生の意見を反映し、色彩鮮やかで華やかな「京和傘」をモチーフに、色は日本の伝統色を採用しています。

09 存心館食堂

●供用開始:2017年11月



屋外コモンズ／屋外什器整備

「緑陰があり四季を感じるキャンパスづくり」「みんなが使いたい、行きたいと思える屋外の居場所」をコンセプトに、キャンパス内を行き交う人を移動の合間に呼び込む広場を構想しました。学生生活における多様な交流を促す屋外コモンズとなるよう、学生ともワークショップを実施し、キャンパスにおける屋外広場の魅力向上や防災機能の強化をめざして整備を行いました。

10 屋外コモンズ／屋外什器整備（東側広場・西側広場・中央広場）

●着工:2017年1月 ●供用開始:2017年3月



東側広場



グローバル・コモンズ整備

留学生と日本人学生が国境・文化・言葉・価値観などさまざまな壁を超えたつながりを生み出し、ともに学ぶための拠点です。国際交流や言語学習の機能を備え、留学生と日本人学生が主体的にグローバルな素養を高めることをめざして、文部科学省のスーパーグローバル大学創成支援事業(タイプB)の一翼とするものです。BBPでは、自分のスキルを磨き、仲間とともに高めあい、実践に踏み出す環境が整備されており、使い道は利用学生によってさまざまです。具体的な機能として、語学図書、国際教養図書などを配架した「リーディングスペース」、専門教員が個別に海外留学や語学学習のアドバイスを行う「BBPサポートデスク」、外国語教員が無料会話レッスンを行う「コミュニケーションルーム」があります。BBPで得た気づきや経験を活かして地域や国内外へ飛び出して、実践へと踏み出すことができます。本学はBBPの開設を機に、「多文化協働」できる人材を世界に輩出することをめざします。

⑪ グローバルコモンズ (BBP: Beyond Borders Plaza)

●着工:2018年1月 ●供用開始:2018年4月



国際寮 (インターナショナルハウス大将軍)

社会のグローバル化が急速に進むなか、立命館大学は教育・研究の質の向上に取り組んできました。スーパーグローバル大学創成支援事業(タイプB)に採択を受け、さらなる留学生の受け入れを進めるなか、留学生の受け入れをはじめとする国際教育を一層強化するべく、受け入れの基盤となる国際寮を新たに整備しました。留学生・海外の研究者受け入れのための機能の充実、寮生活を通じた多様な学びと地域交流の促進をコンセプトにしています。留学生や海外の研究者、地域の方々が「和の文化」や「京都の趣」、「日本の四季」を感じられるよう、外装・内装・外構に「和」の要素を組み入れながら寮の「機能の充実」をはかり、「地域交流」に貢献できる設計としました。

国際寮(インターナショナルハウス大将軍) 新築
 ●延べ面積:5,417.82m² ●階数:地上4階 ●構造:鉄筋コンクリート造 ●着工:2014年12月 ●供用開始:2015年9月



教室整備



上・下:可動式の什器を採用(学而館)

トイレリデザイン



女子トイレパウダーコーナー(存心館)



多機能トイレ(存心館)

バリアフリー整備



エントランス部の段差解消と自動ドア化(啓明館)



男子トイレ(興学館)

保育所整備

内閣府の企業主導型保育事業の助成を受け、2018年9月に衣笠キャンパス、びわこ・くさつキャンパスに学内保育園を2園同時開園しました。教育・研究・就労・就学と育児を両立する保護者の方をサポートできるよう、利用しやすい環境を整えています。「子どもたちの未来を信じ、未来を拓く」を保育理念とし、子どもたち一人ひとりの興味・関心・感性を大切に、保育を進めています。

⑫ 立命館みらい保育園きぬがさ（至徳館2階）

●着工:2018年3月 ●供用開始:2018年9月 ●補助金:内閣府 企業主導型保育事業(H30年度)

▶立命館みらい保育園びわこ…P25



ブロック塀対策など敷地境界部のリデザイン

衣笠キャンパスの複数箇所にて、ブロック塀の改善と同時にキャンパス整備を実施しました。既存の樹林を活かしながら、低木を列植させ開放的な景観とし、植栽を活用した潤いある場づくりなどを通じて、既存背景の樹林と融合させた趣きある緑の連続景観を創出しました。さらに、公道に面した部分は、景観とセキュリティを考慮し、生垣や低木にメッシュフェンス・タテ格子などを組み合わせて計画、民家に

面した部分は、セキュリティとプライバシーに配慮した目隠しフェンスにするなど、各所に配慮した設計となっています。

ブロック塀対策など敷地境界部のリデザイン

●着工:2020年8月 ●完成エリアから順次供用開始、2021年3月完了



BIWAKO-KUSATSU CAMPUS

びわこ・くさつキャンパス [滋賀]

琵琶湖の南東、滋賀県が整備を進める「びわこ文化公園都市」の一角に位置し、敷地内には希少植物が生息する自然緑地が存在します。広大な敷地とキャンパス内外の豊かな緑に囲まれた郊外型キャンパスです。



整備マップ





トリシア（理工系新棟II）

教育・研究の場にふさわしい豊潤な緑に囲まれたびわこ・くさつキャンパス。トリシアはキャンパスの再整備に向けた実験の場でもあります。省エネルギー・環境負荷低減など環境に配慮した技術を積極的に取り込んだ構造により、建物と環境の関係を定量化するなどの研究材料としても利用できるようになっています。外部には雨水貯留池・クリーク・集水池などを整備し、土壤改良や適切な排水計画によって緑が豊かに育つ環境となっています。

01 トリシア

●延べ面積:6,958.41m² ●階数:トリシアⅠ 地上6階建／トリシアⅡ 地上3階建 ●構造:鉄筋コンクリート造 ●着工:2013年3月 ●供用開始:2014年5月 ●補助金:環境省 CO₂排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業(H25年度)

新築



バイオ リンク（理工系新棟I）

ライフサイエンス領域の教育・研究の拠点として整備しました。建物のコンセプト「未来を創造する良好な研究環境空間」のとおり、2階～8階に研究室や学生実験室を機能的に整備しています。設備機器の配置や更新、研究室間の将来的な間仕切り変更にも安全かつフレキシブルに対応できるようになっています。

02 バイオ リンク

●延べ面積:9,954.76m² ●階数:地上8階建 塔屋1階 ●構造:鉄骨造 ●着工:2013年10月 ●供用開始:2015年2月



食マネジメント学部開設 (コラーニングハウスII)

3階には、人の味覚や嗅覚、微生物の働きや食品リサイクルに関する実習室のほか、グループ学習やコミュニケーションのためのコモンラウンジ、調理とともに学習やイベント開催のためのラボキッチンなどがあります。4階には、IHクッキングヒーター やオーブンレンジなど最新の機器を備えた調理学実習室や、五感をとおして食品や飲料の特性、人の感覚や嗜好を測定する官能評価実習室があります。これらの施設群をつなぐ廊下は、知的関心を喚起する明るい空間となっています。1階南側の交流の森の植栽帯をリニューアルし、“EDIBLE GARDEN”(食べられる景観)としました。食べることのできるハーブ類や果樹類を植え、みんなで育て、料理での使い方を学べるガーデンです。

- 03 食マネジメント学部
(コラーニングハウスII 1階外構、3階、4階)
●改修面積:2448.15 m² ●階数:地上4階(改修範囲:1階外構、3階、4階) ●着工:2017年7月 ●供用開始:2018年4月



緑地整備

植栽とともに、地形の勾配やその高低差を利用し、水路やそれにともなう多様な自然要素の取り入れを工夫することで、より潤いをともなった滞留空間づくりが可能になります。スムーズな滞留を呼びおこし、そよ風とともに誰もが自然とひと休みできる場所をつくりだすことが、キャンパスプロムナードの空間的な役割を価値付け、自然と呼応したびわこ・くさつキャンパスの特色を引き出すことにつながります。

- 04 緑地整備（キャンパスプロムナード）
●着工:2020年7月 ●完成エリアから順次供用開始





フロントゾーン再開発

このゾーンは、外部から最初に見える大学の顔であり、誇れる正門空間、アプローチ空間です。自然環境に恵まれ、広大な敷地を有するびわこ・くさつキャンパスの特徴を活かし、人・場所・自然とが織り成す象徴的空間としてるべき風景・イメージの形成を行います。

スポーツ健康コモンズとの空間的役割を共有し、みんなが集い憩うことのできる広場の整備など、アプローチだけではない空間的役割を担い、地域に開かれた新しいキャンパスのイメージを創出します。



[スポーツ健康コモンズ]

びわこ・くさつキャンパスの正門周辺に位置し、キャンパスの顔となるとともに、学生・教職員・校友・地域の方々がスポーツ・健康づくりにおいて交流・連携をはかる場となっています。また、キャンパス内の既存施設などの連動も意識しながら、人と人(ふれあい)・人と建物(親しみやすさ)・建物とキャンパス(広がり)という3つの関係性を融合した、スポーツ健康コミュニティを実現するための中核施設として計画しました。外装は、キャンパスの顔となる正門前のシンボリックな建物として、アリーナやプールといった大きなボリュームを軽快に見せるガルバリウム鋼板を使用し、スポーツの軽快さと躍动感を想起させるデザインとしました。色彩は柔らかいモノトーンを基調とし、周辺の緑地景観が映えるよう計画しました。さらに、アリーナは夏期の温度上昇を軽減するホワイト、プールは冬期の暖房負荷を軽減するダークグレーとすることで、熱負荷を軽減する環境に配慮した計画になっています。

05 スポーツ健康コモンズ

●延べ面積:4,824.93m² ●階数:地上2階 ●構造:鉄骨造 ●着工:2015年7月 ●供用開始:2016年8月

新築

シー・キューブ

食を提供するパブリックスペースとして、1995年のオープン当初から利用者に親しまれていた「喫茶・グリル C-cube」。老朽化により、2019年12月25日をもって一旦閉店しました。その後、客席・テラス部分を整備し、2021年9月に、地域に開かれたキャンパスの顔として、民間レストラン「Forest Dining Nadeshico」がオープン。地元食材を使用した自然派レストランとして、料理を通して季節を感じてもらえる旬の食材を使った「安心で美味しいおしゃれ」をコンセプトに幅広いメニューを提供します。

06 シー・キューブ（「Forest Dining Nadeshico」）

改修

●延べ面積:439.21m² ●階数:地上1階 ●着工:(ホール)2020年5月 (厨房)2021年5月 ●供用開始:2021年9月



屋外コモンズ／屋外什器整備

07 屋外コモンズ／屋外什器整備（フロンティアアベニュー）

●着工:2016年7月 ●供用開始:2016年12月



理工学部80周年モニュメント

理工学部80周年を記念したモニュメントで、学生の案が採用されています。100周年を見据え、違う角度からは「80」が「100」に見える仕掛けになっています。

08 理工学部80周年モニュメント

●2019年3月(除幕式)



国際寮（BKCインターナショナルハウス）

キャンパスの南側、大津市松が丘の緑豊かで閑静な住宅地に位置し、留学生の学習および生活の場として大変恵まれた環境にあります。宿舎の外構には桜の木やもみじの木が植えられ、留学生にとって「日本の四季」を感じながら生活できる空間です。高層棟には各階の中央に共用キッチン、低層棟には畳コーナーのあるセミナー室があり、施設の中央に配置した共用ロビーでは自発的なイベントの開催が可能です。また、個室の他に4名または8名定員のセミナーホールが設置され、多種多様な留学生の受け入れプログラムに対応します。環境への取り組みとして、屋根形状を活かした太陽光発電パネルの設置・自然採光・自然通風など自然エネルギーの活用を積極的に行って、地球環境への負荷低減に貢献できる施設となっています。

09 国際寮（BKCインターナショナルハウス）

新築

●延べ面積:4,481.29m² ●階数:地上5階、塔屋1階 ●構造:鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 ●着工:2011年10月 ●供用開始:2013年4月



コモンズ整備

「学習の場+憩いの場」をコンセプトにした、ラーニングコモンズ。オープンスタイルのラウンジ、さまざまなレイアウトが可能なデザインチェア、オープンスペースを間仕切るガラスの扉、セミオープンの個室など、さまざまなシーンやアクティビティ、自分たちの目的やスタイルに応じて、学習空間を選択し、セルフデザインすることができます。

10 アクロスラウンジ（アクロスウイング1階）

●着工:2018年1月 ●供用開始:2018年4月



アクロスラウンジ(アクロスウイング1F)



グローバルコモンズ整備

国境の壁・文化の壁・言葉の壁などさまざまなボーダーを超えたつながりを生み出しともに学ぶ、国際交流や言語学習を中心としたグローバルコモンズです。来室者が気軽に立ち寄り、交流できる「Communication Area」、静かな空間の中で、参考図書や語学学習教材を使用して、勉強することができる「Reading Area」、異文化交流イベントやテーマ別のワークショップなど、グローバルコモンズならではのさまざまなイベントを開催することができる「Event Area」などがあります。世界の「五大陸」をモチーフとした、特色をもった大陸(エリア)が、開放的な空間の中で緩やかにつながり、一体的な交流活動を促進します。また、各国の情報を書き込める世界地図や、飲食や調理が可能なカフェスペース、落書きメッセージボードなど、さまざまな仕掛けを設けることで、多様な文化交流のきっかけをつくり、自由な発想を創造する場です。



11 グローバルコモンズ（BBP:Beyond Borders Plaza）

●着工:2017年11月 ●供用開始:2018年4月

課外活動施設

立命館大学では、総合的人間力の育成をはかるために、正課・課外の枠を超えた多様な「学びのコミュニティ」の形成を実現する環境づくりをめざしています。

[アクトα]

学生による研究・ものづくり分野の活動拠点づくりを設計コンセプトとして建設されました。学生同士が意欲や好奇心を刺激しあい、学問領域を超えた新たな「学び」を創出するとともに、正課で学んだ知識を課外活動で実践し、更に正課で学び直すという相互作用による学びの深化・広がりを生み出す場としての活用を期待しています。また、地域の方々との催し物も開催できるようオープンデッキや共用のワークラボを設けました。

12 アクトα

●延べ面積:880.26m²(内訳:新築棟床面積 659.25m²、オープンスペース床面積 39.97m²、改修棟床面積 181.04m²) ●階数:地上2階 ●構造:鉄骨造 ●着工:2013年3月 ●供用開始:2013年9月

新築 改修



上:オープンスペース 下:多目的ホール（ともにアクトα）

[ヨット部艇庫]

琵琶湖から新艇庫までのシームレスな活動動線を考慮した、施設計画を行いました。障がい者向けにヨットを体験する「チャレンジヨット」を地域貢献として実施しています。また、パラリンピック選手の育成も視野に入れ、新艇庫ではエレベーターの設置やトイレおよび浴室もバリアフリー対応としました。

ヨット部艇庫（滋賀県大津市柳が崎）

●延べ面積:523.02m² ●階数:地上2階 ●構造:鉄骨造 ●着工:2018年12月 ●供用開始:2019年6月 ●補助金:文部科学省 私立学校施設整備補助金(H30年度)



ヨット部艇庫

教室整備



上:演習室(トリシア)、下:理科教育講義室(バイオ リンク)

トイレリデザイン



バリアフリー整備



エントランス自動ドア改修(アクロスウイング)



上:男子トイレ(リンクスクエア)、中:多機能トイレ(メディアセンター)、下:女子トイレ(コラーニングハウスⅠ)

中央熱源設備更新

さらなる省エネルギー化を推進するため、CO₂排出量の多い中央熱源を更新。各種自動制御による運転最適化の結果、2019年度のCO₂排出量を対前年比で年間1,023t(48.6%)削減することができました。BKC全体でも約8%の省CO₂を実現しており、立命館学園の省エネの取り組み史上、最も効果が大きい設備改修の一つとなりました。コアステーション中央熱源更新を契機にした省エネの取り組みは、「サステイナブルキャンパス賞2020奨励賞」および「令和2年度 滋賀県低炭素社会づくり賞」を受賞しました。

13 中央熱源設備更新（コアステーション）

●着工:2018年10月 ●供用開始:2019年4月 ●補助金:環境省 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(先進対策の効率的実施によるCO₂排出量大幅削減事業 設備補助事業)(H30年度)



危険物倉庫増設

危険物倉庫増設

●延べ面積:98.82m²(49.1m²×2箇所) ●階数:平屋(コンクリートブロック造) ●着工:2014年4月 ●供用開始:2014年7月



室番号を大きく表示した扉のデザイン

保育所整備

内閣府の企業主導型保育事業の助成を受け、2018年9月に衣笠キャンパス、びわこ・くさつキャンパスに学内保育園を2園同時開園しました。教育・研究・就労・就学と育児を両立する保護者の方をサポートできるよう、利用しやすい環境を整えています。「子どもたちの未来を信じ、未来を拓く」を保育理念とし、子どもたち一人ひとりの興味・関心・感性を大切に、保育を進めています。

14 立命館みらい保育園びわこ (コアステーション2階)

●着工:2018年3月 ●供用開始:2018年9月 ●補助金:内閣府 企業主導型保育事業(H30年度)

▶ 立命館みらい保育園きぬがさ…P17



大阪万博記念公園の東約1.5kmに位置し、サッポロビール工場跡地に茨木市立の岩倉公園と一体的に計画され、2015年度に開設しました。JR茨木駅に近接する都市型キャンパスです。

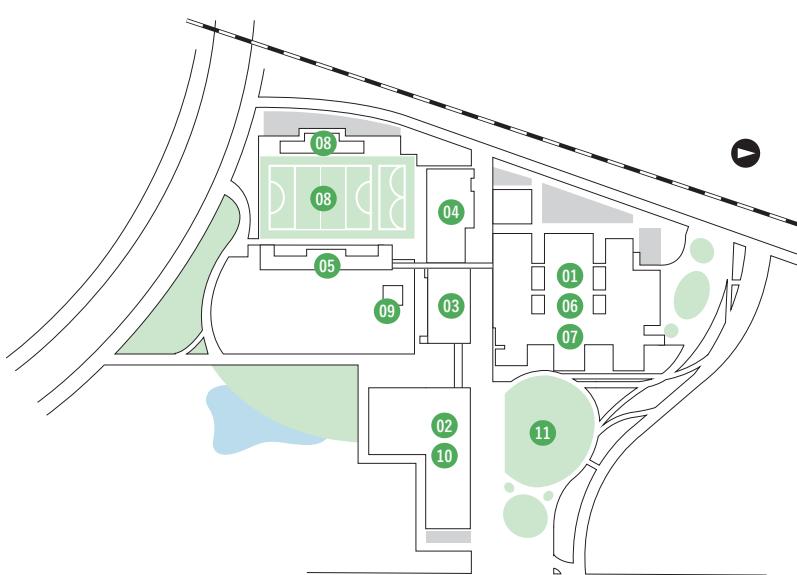
OSAKA IBARAKI CAMPUS

大阪いばらきキャンパス [大阪]



整備マップ[°]

- 01 A棟 P.27
- 02 B棟 立命館いばらきフューチャープラザ P.28
- 03 C棟 P.28
- 04 D棟 P.28
- 05 G棟 分林記念館 P.29
- 06 総合心理学部（A棟5階） P.29
- 07 グローバル教養学部（A棟5階） P.30
- 国際寮（OICインターナショナルハウス） P.30
- 08 OICフィールド・F棟 P.30
- 09 心理・教育相談センター P.31
- 10 OICまちライブラリー（B棟1階） P.31
- 11 岩倉公園（大阪府茨木市） P.31



大阪いばらきキャンパス開設

キャンパスの狭隘化の解消と、新たな教学展開の推進を主たる目的として新設した大阪いばらきキャンパス。「アジアのゲートウェイ」、「都市共創」、「地域・社会連携」という3つの教学コンセプトを掲げ、都市型の立地を活かした産業界や行政機関などとの一層の連携による教学展開を進めるとともに、門・塀をもたないキャンパス設計による地域や社会に開かれたキャンパスとして、学生のさらなる成長をめざしています。キャンパスには授業内外で学びあいができる多様なコモンズを設け、キャンパス全体がラーニングプレイスになっている

ほか、省エネルギー・省資源・循環を配慮したシステムを導入し、「エコ・イノベーション創発キャンパス」として新しい学びのスタイルの創造をめざしています。

大阪いばらきキャンパス

●延べ面積:105,908.11m² ●階数:地上9F ●構造:鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造 ●着工:2013年7月 ●供用開始:2015年4月 ●補助金:国土交通省 住宅・建築物省CO₂先導事業(H25年度)



大阪いばらきキャンパス「大阪

[A棟]

学生数に応じて、照明や空調の利用エリアを自動調整する「MOTTAINAIシステム」などを取り入れ、建物内の省エネ効果を高めるだけでなく、環境行動を誘発する取り組みにもつなげています。レクチャールームやセミナールーム、マルチメディアルームが授業規模や柔軟形態にあわせて対応できるよう、小・中・大の各サイズが用意されています。各教室は、学生の多様な学びを実現するため、1つの空間にさまざまな機能を備えました。机や椅子は

もちろん、機材も含めて可動式とすることで教室の前後の概念をなくし、将来的な変化にも柔軟に対応できる空間設計となっています。

01 A棟

●延べ面積:62,433.15m² ●階数:地上9F ●構造:鉄骨造 ●着工:2013年7月 ●供用開始:2015年4月

新築



スチューデントラウンジ



500名講義室



上:グランドホール、下:ラーニングスタジオ

[B棟 立命館いばらきフューチャープラザ]

茨木市との公私協力により整備された、地域・社会連携のシンボルとなる施設です。学生・教職員のみならず、地域・自治体・企業の方々などさまざまな人が集い、知と文化をともに創造・発信し、交流することで豊かな未来を創造していく場です。

施設内には、クラシックコンサートまで対応可能なグランドホール、イベントやレセプション、催事に対応できる平床間形式のイベントホール、学会やシンポジウムなどに適したカンファレンスホールがあります。また、従来の教室とは異なり、利用者の用途・スタイルに応じて机や椅子、教卓などが自由にレイアウトできるラーニングスタジオや大人数のディベートやディスカッション、プレゼンテーションを行うことのできるコロキウムもあります。さらに、研究・产学連携施設となる産学交流ラウンジ、茨木商工会議所もキャンパス内に入り、産業界や地域との連携を推進しています。

02 B棟 立命館いばらきフューチャープラザ

新築

●延べ面積:24,136.48m² ●階数:地上5F ●構造:鉄骨鉄筋コンクリート造 ●着工:2013年7月 ●供用開始:2015年4月

[C棟]

学生たちが合宿形式でディスカッションを行うことのできるセミナーハウスや、室内791席、屋外90席のフードコートタイプのカフェテリア食堂があります。

03 C棟

新築

●延べ面積:11,900.18m² ●階数:地上5F ●構造:鉄骨造 ●着工:2013年7月 ●供用開始:2015年4月



左・右:OIC Cafeteria



[D棟]

日常は学生団体による練習やスポーツ実習科目に使用され、入学式や卒業式といった式典会場としても使用される大型アリーナがあります。

04 D棟

新築

●延べ面積:7,306.09m² ●階数:地上3F ●構造:鉄骨造 ●着工:2013年7月 ●供用開始:2015年4月



G棟 分林記念館

「日本に住まい、日本に学び、世界にはばたく」国際交流館

グローバル教養学部の寮機能を有する、OICの新たな国際交流施設であり、立命館大学のさらなるグローバル化を推進するとともに、留学生が、能楽や茶道をはじめとする日本文化を学び、世界に発信する拠点です。

立命館館賓 分林保弘様のご寄付を原資として建設されました。学びと生活が融合した国際学生寮をキャンパス内に整備し、寮内では日本の住まいの特徴である二足制を採用するほか、囲炉裏や畳によるリビング・ダイニング、縁側バルコニーをもつ寮室など、日本での生活様式を体験することができ、国際相互理解を進めるきっかけと

なるよう日本文化ゾーンを設けています。さらに、社会・地域に開かれたキャンパスというOICの特徴を活かし、既存キャンパスのコンコースを発展させた1階の大空間に、多様なアクティビティを誘発する9つのフィールドを設け、国際交流、地域交流を促進する場所としています。分林記念館の利用を通じて、多文化協働人材として世界にはばたく学生を育成します。

05 G棟 分林記念館

新築
●延べ面積:6,888.46 m² ●階数:地上5階 ●構造:鉄骨造 ●着工:2018年11月
●供用開始:2019年9月

総合心理学部開設(A棟6階)

全国有数の規模を持つ実験・実習施設と アクティブ・ラーニングを支える学習空間

A棟6階には、日本最大級の規模を誇る総合心理学部の学生専用の実験・実習施設を整備しています。心理学分野の最先端の実験機器や設備の導入はもちろんのこと、多様な学びを支える施設も充実しています。

06 総合心理学部（A棟6階）

●延べ面積:4,467.31 m² ●着工:2015年3月 ●供用開始:2016年4月



左:ここらばスクエア、右:ハトを対象とした実験を行う動物行動実験室



観察室からプレイルームを望む



グローバル教養学部開設（A棟5階）

2019年4月、世界有数の研究大学であるオーストラリア国立大学(ANU)と立命館大学は、4年間で2つの学位取得をめざす日本で初めての共同学士課程「グローバル教養学部(GLA)」を開設しました。開設にともない、A棟5階に「多文化社会を背景に、自発的な学びと協働を誘発する、多彩なコミュニケーションの場」として新たに整備しました。新たなOICのコモンズとして位置づけられたGlobal Loungeは、ディスカッションエリアやプレゼンテーションエリアを設け、日本住居の竿縁天井をイメージした天井の採用など、日本の感性も感じられる空間にしています。また、Annexが配置され、用途によって空間の大きさを可変できるよう、ふすまをイメージした間仕切りを取り入れ、複数の部屋を組み合わせて利用することもできます。グローバル教養学部の教学の柱の1つでもある「チュートリアル」が展開する空間、コモンズとしても活用できる空間になっています。下足を脱いで利用する作法を備えた、日本の生活文化を象徴する畳の間を設置しています。

07 グローバル教養学部（A棟5階）

●延べ面積:4,787.36m²(A棟5階の一部) ●着工:2018年2月 ●供用開始:2019年4月

国際寮（OICインターナショナルハウス）

OICインターナショナルハウスは、大阪いばらきキャンパス(OIC)のキャンパスコンセプトである、「アジアのゲトウェイ」を実現する教育・研究環境充実のための事業の一つとして、OICの開設とともにキャンパス内に移転された茨木商工会議所の跡地を活用して開設しました。OICインターナショナルハウスの最大の特徴は、ユニットシェア型の居住スタイルの導入です。6人でキッチンなどを共用するそれぞれ独立した居住空間(ユニット)を設け、留学生と日本人学生とがユニット単位を基本に多文化協働の共同生活を送ります。ユニットを中心に、インターナショナルハウス全体をグローバル空間として、日常的に国際的な交流が展開される場となっていきます。ユニットの間取りは、寮室部分以外の、リビングキッチンなど共用部分をゆとりある配置としています。また、日本人学生の入居を可能とし、共同生活を通じて学びと交流を促進し、居住空間にとどまらない多文化協働の混住型国際寮として展開しています。

国際寮（OICインターナショナルハウス）

●延べ面積:3,266.69m² ●階数:地上5階建 搭屋1階(駐輪場・ゴミステーション含む) ●構造:鉄筋コンクリート造
●着工:2017年2月 ●供用開始:2018年3月 ※建物所有者:株式会社長栄



OICフィールド・F棟

ホッケー場「立命館OICフィールド」は、およそ800人収容のメインスタンドや、夜間照明などを備え、4台の固定カメラによる国内初のビデオ判定システムを導入し、ホッケー競技の国際大会開催が可能なスタジアムとなっています。立命館大学ホッケー部のみならず、関西および日本ホッケーの発展の場として、海外チームを誘致し国際試合を実施するほか、小学生を対象としたホッケースクールや、ガンバ大阪サッカースクールを実施するなど、地域交流の場としても機能しています。

いばらき立命館ホッケースクール

茨木のスポーツの未来を担う人材育成と、チームスポーツを通じた豊かな人間形成を目的として、OICフィールドにてホッケー教室を2017年から開講しました(小学生対象)。立命館ホッケークラブ・ホッケー部が講師となり、子どもでも扱いやすい特製のスティックやボールを使用したエンジョイホッケーを通じて、スポーツの楽しさや協調性を身につけていきます。今後より一層、地域のスポーツ振興を推進していきます。

08 OICフィールド・F棟

●芝張替え:2017年3月(完了)

新築 改修

心理・教育相談センター

乳幼児から大人まで、一般の方を対象にさまざまな心の問題や悩みについて、幅広い相談を受け付け、カウンセリングやプレイセラピーを中心に心理臨床的な支援を行っています。臨床心理士資格をもつ教員を中心としたスタッフにより運営され、立命館大学大学院人間科学研究科・臨床心理学領域で学び、将来、臨床心理士をめざす学生の訓練機関も兼ねているため、教員の指導のもとに、大学院生・研修員がカウンセリングを担当しています。

09 心理・教育相談センター

新築

●延べ面積:147.63m² ●階数:平屋 ●構造:鉄骨造 ●供用開始:2018年9月



OICまちライブラリー

市民に開かれたキャンパス

私設図書館である「まちライブラリー@OIC(立命館大学大阪いばらきキャンパス)」は、本や共通のテーマを持った人たちが出会い、交流を深めながらコミュニティ形成をインキューベート(育成・支援)する場です。「地域とつながる、地域と育つ」をコンセプトに、地域の方々や学生・教職員などがさまざまな立場、世代を超えて出会い、つながり、そこでの交流を通じて新たな気づきや学びの機会を提供し、市民に開かれたキャンパスの創造に寄与します。

10 OICまちライブラリー（B棟1階）

●利用開始:2015年4月



岩倉公園（大阪府茨木市）

立命館大学大阪いばらきキャンパスに隣接する「岩倉公園」。キャンパスと公園との境界が見つけられないほど一体化した空間となっています。また岩倉公園は雨水貯留施設、非常用トイレ、かまどベンチなどの防災機能を持ち、地域の防災・交流拠点としても位置づけられています。キャンパス開設時には、ランドスケープ(緑地や外部空間)のデザインに関して、公園と大学にまたがった入念な検討がなされ、ゾーニングが行われました。

11 岩倉公園

※施設所有者:大阪府茨木市



RITSUMEIKAN ASIA PACIFIC UNIVERSITY

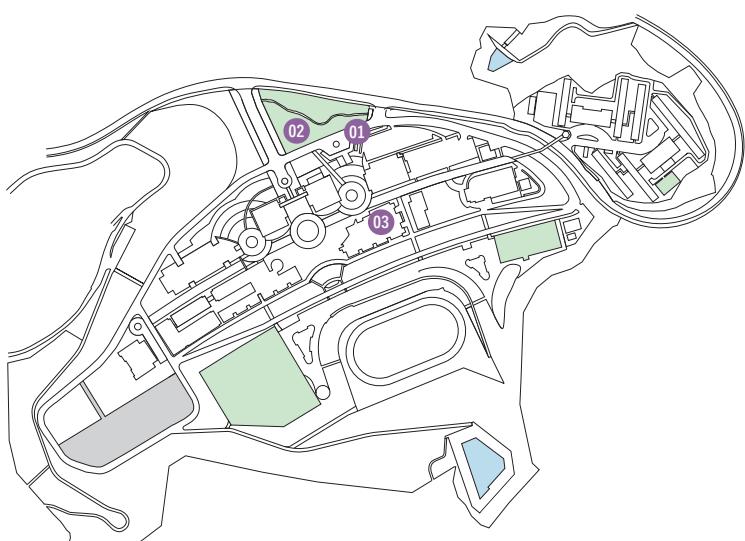
世界各国・地域から未来を担う若者が集い、
ともに学び、生活し、相互の文化や習慣を
理解しあい、人類共通の目標をめざす知的
創造の場として、2000年4月、大分県別府市
に開学しました。

立命館アジア太平洋大学 [大分]



整備マップ

- 01 I棟 時待場（バスターミナル複合施設）…… P.33
- 02 緑地整備（Sakura Sky Garden）…… P.34
- 03 Quiet Space（E棟2階）…… P.34
- トイレリデザイン…… P.35
- マイボトル給水機…… P.35





I棟 時待場

バス停に、新しくバスシェルターを整備しました。バス待合スペースのほか、飲食やパソコン利用もできるコモンズスペースや、コンビニエンスストアも併設され、雨風をしのいで快適な環境でバスを待つことが可能になりました。また、APU-Club・国内学生父母の会からは、コモンズスペースである「十文字原(じゅうもんじばる)ラウンジ」内の備品整備をご支援いただき、公募により集まった学生の皆さんと意見交換しながら内装や什器を決定しました。これらの機能を有する「時待場」と、コモンズスペースの「十文字原ラウンジ」

という名称も、学生・教職員の皆さんによる公募によって決定しています。APUの玄関口として、学生や教職員だけではなく、地域の方々やAPUへ来訪いただく皆さんをお迎えするシンボルとしての機能も持ちます。

01 I棟 時待場（バスターミナル複合施設）

●延べ面積:582.42m² ●階数:平屋 ●構造:鉄骨造 ●着工:2020年4月 ●供用開始:2020年9月

新築



左・右:十文字原ラウンジ



バス待合スペース



コンビニエンスストア

緑地整備

キャンパス正門東側の自然緑地を、「Sakura Sky Garden」として整備しました。このガーデンは、APUの同窓会組織である校友会からの寄付によって整備することになり、卒業生の意見を集め、校友会が主導で企画されたものです。張り芝と桜の植栽を施し、遊歩道や休憩できる小さな広場、ベンチが置かれ、卒業生などのAPU

関係者のみならず、地域の方々にも楽しんでいただける憩いの場になるようにという卒業生の願いが込められています。

02 緑地整備（Sakura Sky Garden）

●着工:2018年12月 ●供用開始:2019年4月



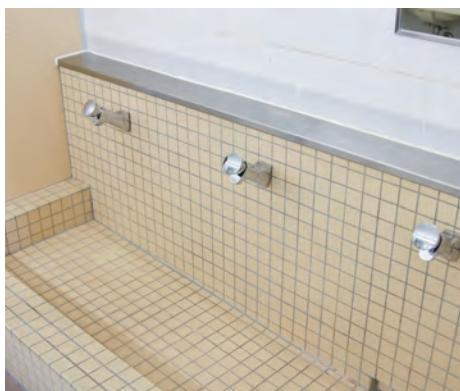
オープニングセレモニーの様子

Quiet Space

APUで学ぶ多国籍なバックグラウンドを持った学生の学習環境の更なる向上を目的に、多様な活動を認めるスペースとして設置しました。このスペースは、瞑想・読書・考え方・お祈りなど、心を落ち着かせるための空間です。室内にある可動式パーティションを使用して、自由に空間を間仕切ることも可能です。学生・教職員が利用できるスペースです。

03 Quiet Space (E棟2階)

●着工:2016年3月 ●供用開始:2016年4月



トイレリデザイン

在学生へのサービス・満足度の向上のみならず、高校生や保護者・学校関係者・地域の方々にもAPUの魅力をアピールできるようなシンボリックなものとなるよう整備されています。検討にあたっては、LGBT学生などで構成されている学生団体などへのヒアリングをはじめ、スチューデント・オフィスによる学生へのヒアリングも実施し、改修を行いました。

トイレリデザイン

●着工:2019年2月(F105横)、2020年1月(E棟1階) ●供用開始:2019年3月(F105横)、2020年3月(E棟1階)



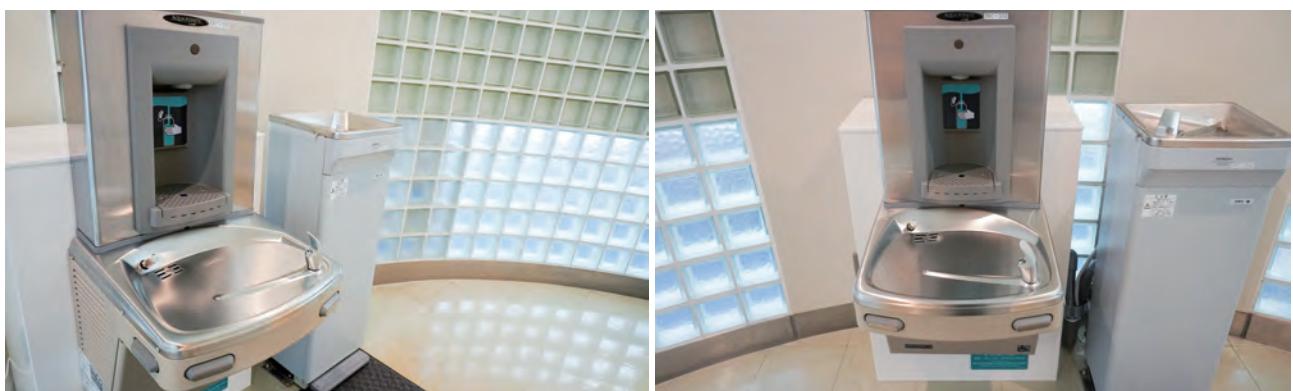
左上・右上:E棟1階多目的トイレ、左下・右下:F105教室横トイレ

マイボトル給水機

APU開学20周年の2020年に、APU-Club・国内学生父母の会事業によるご支援により、キャンパス内に4台のマイボトル給水機を設置しました。車椅子の方も無理なく使えるバリアフリー規格で、水道水をマイボトルに入れて持ち歩けば、ペットボトルなどのゴミが出ず、CO₂排出量の削減につながる取り組みとなります。

マイボトル給水機

●供用開始:2020年3月



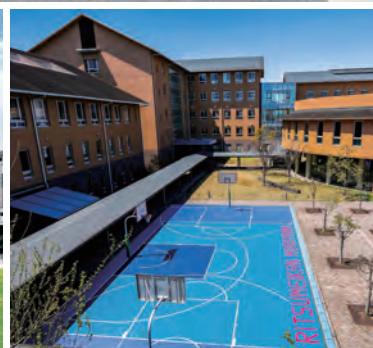
AFFILIATED SCHOOLS

学校法人立命館は、2つの大学と4つの中学校・高等学校、1つの小学校を有する総合学園です。各附属校は、常に時代の先を見据え、日本の教育をリードする実践を展開し、その教育創造にあわせた施設整備を進めています。こうした取り組みは、文部科学省「スーパー・サイエンスハイスクール(SSH)」および「ワールド・ワイド・ラーニング(WWL)コンソーシアム構築支援事業」に指定されるなど、高い評価を得ています。

附 属 校

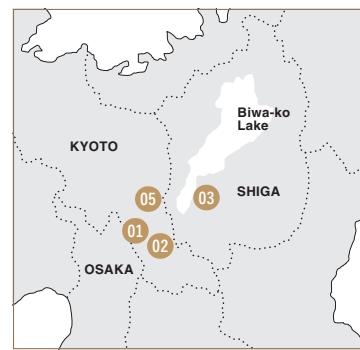
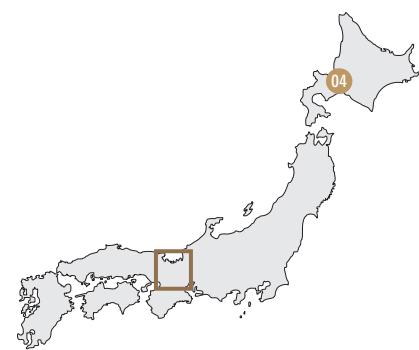
立命館中学校・高等学校／立命館宇治中学校・高等学校

立命館慶祥中学校・高等学校／立命館守山中学校・高等学校／立命館小学校



整備マップ

- 01 長岡京キャンパス
(立命館中学校・高等学校) P.37
- 02 C棟
(立命館宇治中学校・高等学校) P.38
- 03 ICT教室整備
(立命館守山中学校・高等学校) P.38
- 04 Co-Tan
(立命館慶祥中学校・高等学校) P.39
- 05 ICT教室整備
(立命館小学校) P.39





長岡京キャンパス開設

立命館中学校・高等学校

附属校

立命館の小中高一貫教育を支える

立命館中学校・高等学校は、「サイエンス教育」と「国際教育」を柱とした特徴的なプログラムを開設すると同時に、生徒の自主的活動を重視し、豊かな人間性を育む教育を大切にしています。長岡京キャンパスでは、小学校5年生から高校3年生がともに学んでいます。その象徴が教室棟にある3層吹抜のアトリウム空間です。このアトリウムは、ガラスのトップライトに覆われ、西山・恵解山古墳といったこの地の自然・歴史の象徴的な風景に開かれた、明るく開放的なキャンパスを象徴するオープンスペースです。1階には敷地の高低差を利用した円弧状の「階段ステージ」や、同時に200枚のポスターが掲示可能なスペースを有し、大規模なポスターセッションやプレゼンテーションのほか、大きな生徒作品の展示やプロジェクト上映も可能です。クラスや学年を超えて、互いに活動が見え、意見を交換できるこの空間から、新たな学びのスタイルが生まれることが期待されています。

立命館の伝統と先進性を纏った外観、地域との調和、歴史との共生

伝統的な素材と、地球環境にも呼応する先進的な素材を外観において融合し、世界に開かれた学校像を体現しています。長岡京の地域性を取り入れ、竹をモチーフにしたデザインを採用するほか、埋蔵文化財発掘調査で出土した、戦国時代「山崎の合戦」の名残の堀や、長岡京時代の発掘跡を再現したコートヤードなど、土地の記憶を体感できるキャンパスを生み出しています。

世界との交流の拠点となる研修施設

海外交流を生み出す場として、70～90人の生徒たちがともに研修できる「体験学習棟」を設けています。留学生との絆をさらに深め、生徒の学びのモチベーションや自立心の向上につながるプログラムの拠点として活用します。また屋上には天文台を備え、科学学習の場としても活用されます。

最先端のエコスクールの実現

建築・設備技術が融合した新しいエコスクールを実現しています。学校の中央部にあるアトリウム空間はエコスクールの象徴として、季節に応じた各種自然エネルギーの活用と建築的対応の組合せにより、年間のエネルギー収支をゼロ化します。キャンパス自体が環境教育の「教材」となり、世界に立命館の取り組みを発信します。

地域防災に貢献する体育館

災害時には広域避難の受け入れ場所となることを想定し、停電時も電源を確保しプールの水を汲み上げて利用できるようにするなど、地域社会にも貢献できる施設です。



01 長岡京キャンパス（立命館中学校・高等学校）

新築

- 延べ面積: 38,778.55 m² (教室棟28,826.25 m²、体育棟8,016.87 m²、渡り廊下棟50.64 m²、体験学習棟1,620.92 m²、その他263.87 m²)
- 階数: 地下1階、地上6階
- 構造: 鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)
- 着工: 2012年4月
- 供用開始: 2014年9月
- 補助金: 国土交通省 住宅・建築物省 CO₂先導事業(H25年度)

C棟

立命館宇治中学校・高等学校

「生徒と教員のコミュニケーションを促す校舎づくり」、「立命館宇治中学校・高等学校ブランド向上に寄与できる校舎づくり」を設計コンセプトに掲げ、主に国際バカロレア教育の拠点となる新校舎です。山裾の特徴的な立地条件のもと、自然と触れ合える、魅力的な空間が生まれました。1階に2つの理科実験室と美術室、2階には国際教員室とコミュニケーションラウンジとカウンセリングルームとミーティングルーム、3階にはホールルーム教室と緑豊かな散策路、4階には国際的な試験を実施できる大会議室、また、バルコニーに隣接して小教室が配置されました。

02 C棟(立命館宇治中学校・高等学校) 新築

●延べ面積:2,861.12m² ●階数:地上4階 ●構造:鉄筋コンクリート造 ●着工:2019年11月 ●供用開始:2021年8月



ICT教室整備

立命館守山中学校・高等学校

未来型の学校づくりをめざし、教室のICT整備を進めています。ネットワークの活用を通して、生徒自身が情報を的確に判断し伝達することで、ICTを「学習の道具」だけにとどめず、「生活の道具」へと発展させています。学校生活中でICTの活用を進めることにより、高度情報化社会への適応を促します。

03 ICT教室整備 (立命館守山中学校・高等学校)



左・右:多機能で眩しくない超短焦点プロジェクタと板書の併用で行われる授業



Co-Tan

立命館慶祥中学校・高等学校



次代を担う生徒たちが「自ら学び、成長する」学校として、立体的かつ多様な学びの場を創出する新しい施設環境が完成しました。既存校舎の外観意匠を尊重し、キャンパス全体との調和をはかるとともに、緑豊かな環境と呼応した外観デザインとしました。周辺の豊かな自然をモチーフとし、グリーン系・ブルー系・イエロー系のカラーをアクセントとして内装・什器の色を設定しました。「教わる」から「自ら学ぶ」への質的転換をめざし、グループワークなどによって、生徒が自主的に学習に取り組む授業の展開により、思考力や判断力を養っていきます。各教室は移動間仕切りによって空間の大きさを変えて利用することができます。また、スマートデバイスやアプリとの連携ができるAV設備や無線LANといったICT教育設備を導入することで、これまでにないスピード感が生まれます。この環境で教員・生徒間のコミュニケーションやディスカッションを促進し、アイデアの創出や「考える力」を伸ばすことを狙いにしています。

“Co-Tan(コタン)”とは

アイヌ語で集落・村落を意味します。建築名称のCo-Tan(コタン)は、ともに学び・議論し・解を見つける・探求するという「慶祥の学び」の姿を、英語“Co-(ともに)”と日本語“Takyu(探求)”をかけあわせて表しています。

04 Co-Tan (立命館慶祥中学校・高等学校)

新築

●延べ面積:945.56m² ●階数:地上1階 ●構造:鉄骨造 ●着工:2018年6月 ●供用開始:2019年4月

下:移動間仕切りをあけることにより、ホールとしても利用できる

ICT 教室整備

立命館小学校

開校当時からICTを活用した教育活動に力を入れ、日本の小学校では唯一となる「Microsoft Showcase School」の認定を受けています。授業では、ICTを「どれだけ上手く使えるか」とともに、「どんな新しいことができるのか」を大切にしています。常に進歩する技術とその変化への対応をはかり、今後もさらに高いレベルのICT教育をめざします。

05 ICT 教室整備 (立命館小学校)



左・右:2019年度より全教室に可動式の電子教卓を設置

新型コロナウイルス感染症対策

学校法人立命館では、安心・安全なキャンパスを実現するため、換気システムの増設・改修、飛散防止パネルの設置、非接触型自動検温システムの導入など、これまでさまざまな新型コロナウイルス感染防止対策を講じてきました。着実な感染防止対策によって、学生同士がつながり、学びあいながら、充実した学生生活を送ることのできるキャンパスの実現をめざしました。

発熱外来の設置

発熱外来への受診者と一般の受診者の接触を防ぐため、入口を別に設けるなど施設上の動線を分けています。感染の恐れのある人が立ち入る区域については、陰圧となるよう設計し、室内の気圧を室外よりも低くすることで、ウイルスなどで汚染された可能性のある空気を室外に逃さないようにしています。



上:衣笠キャンパス(志学館1階)、中・下:びわこ・くさつキャンパス(ウェストウイング1階)

換気設備の増設



コンコースに換気設備を設置(大阪いばらきキャンパス)

抗ウイルス・抗菌コーティング



ウイルスや菌を大幅に低減させるコーティングを机・椅子・食堂・図書館・体育館・トイレなど利用頻度の高い主要な施設・設備に施工(上:衣笠キャンパス、下:立命館慶祥中学校・高等学校)

感染症対策を講じたキャンパス



飛沫防止パネルを設置した授業(立命館アジア太平洋大学)



パーティションを設置したカフェテリア(立命館守山中学校・高等学校)



ドアノブを手で握ることによる感染リスクを低減



一方通行にすることで混雑を回避(立命館中学校・高等学校)

接触状況把握システム

接触状況把握システムを導入。学内の5万席に貼付されたQRコードを読み取り、システムに登録すると、陽性者と接触した可能性がある場合に大学から通知を受け取ることができます。



非接触型オーダーシステム

スマホアプリを使って注文・購入ができるシステムを導入したレストランが、びわこ・くさつキャンパスにオープンしました。注文時や受け取り時の混雑緩和や、支払い時の接触を回避することができます。

▶ シー・キューブ「Forest Dining Nadeshico」…P21



R2020整備項目一覧

KYOTO CAMPUS

京都キャンパス

衣笠キャンパス

新築

- 平井嘉一郎記念図書館 ▶P.11
- 京都衣笠体育館 ▶P.11
- 究論館 ▶P.12
- 国際寮(インターナショナルハウス大将軍) ▶P.15
- 新体育館開設(第三尚友館)
- 特例予会社施設(立命館ぶらす)

既存施設
改修

- 存心館全面改修 ▶P.12
- 興学館全面改修 ▶P.12
- 清心館全面改修 ▶P.13
- 啓明館全面改修 ▶P.13
- 学生会館改修(耐震補修含む) ▶P.14
- グローバルコモンズ整備 ▶P.15
- 教室整備(学而館) ▶P.16
- 立命館みらい保育園きぬがさ(至徳館) ▶P.17
- 修学館耐震補修

LCC改修

- 空調更新(エアコン等)
- 電気設備更新(受変電設備等)
- EV更新
- 屋上防水更新
- 外壁改修(塗装)
- 電話交換機更新
- その他LCC

安心安全

- ブロック塀対策など敷地境界部のリデザイン ▶P.17
- セキュリティ(電気錠)更新
- 非構造部材耐震
- 防災設備更新(自動火災報知器)
- 換気設備整備工事(志学館・興学館)
[私立学校施設整備費補助金
(私立学校教育研究装置等施設整備費)(R2年度)]

アメニティ

- 存心館食堂リニューアル、食堂什器更新 ▶P.14
- 屋外コモンズ／屋外什器整備 ▶P.14
- バリアフリー(自動ドア・スロープ) ▶P.16
- トイレリデザイン
(以学館・恒心館・研心館・存心館・興学館・
明学館・志学館・清心館・啓明館・尽心館) ▶P.16
- 【父母教育後援会寄付】屋外什器設置
(西側広場・中央広場)

その他

- 旧堂本印象邸老朽化補修、旧堂本印象邸活用改修
- 駐輪場整備(小松原)
- 省エネ対策(LED・ガスタービン発電等)
- グラウンド整備(原谷 サッカーグラウンド)
- 原谷グラウンド 屋外トイレ整備
- 柊野グラウンド 安全対策(アーチェリー)
- 教室番号変更

朱雀キャンパス

既存施設
改修

- 教職大学院開設
- 人間科学研究科開設
- その他LCC

安心安全

- セキュリティ(電気錠)更新
- 防災倉庫整備

BIWAKO-KUSATSU CAMPUS

びわこ・くさつキャンパス

新築

- トリシア(理工系新棟Ⅱ) ▶P.19
- バイオリンク(理工系新棟Ⅰ) ▶P.19
- フロントゾーン再開発 ▶P.21
- スポーツ健康コモンズ ▶P.21
- 国際寮(BKCインターナショナルハウス) ▶P.22
- 課外活動施設(アクトα) ▶P.23
- 教室整備(トリシア・バイオリンク) ▶P.24
- 危険物倉庫増設(2棟) ▶P.25

既存施設
改修

- 食マネジメント学部開設(コラーニングハウスⅡ) ▶P.20
- シー・キューブ(学生食環境改善) ▶P.21
- コモンズ整備(アクロスウイング) ▶P.22
- グローバルコモンズ整備(セントラルアーク) ▶P.23
- 立命館みらい保育園びわこ(コアステーション) ▶P.25
- 危険物倉庫改修
- 学びのスペース整備(ウエストウイング)
- 理工系学部施設再ゾーニング
- 生命科学部事務室等整備(リンクスクエア)
- 薬学部事務室等整備(サイエンスコア)
- 薬学部創薬科学科開設
(サイエンスコア・コラーニングハウスⅡ等)
- 井水利用施設
- 教室什器可動化
- 学生課外施設整備(コラーニングハウスⅢ)
- 熱中症対策(BKCジム)
- 駐車場等交通改善

LCC改修

- 中央熱源設備更新(コアステーション) ▶P.24
- 空調更新(エアコン)
- 電気設備更新(受変電設備等)
- 屋上防水更新
- 給排水設備更新(受水槽等)、(給湯機等)
- 空調更新(エアコン)
- 電話交換機更新
- その他LCC

安心安全

- 高圧ガス安全対策
- セキュリティ(電気錠)更新
- 防災設備更新(自動火災報知器等)
- 防災倉庫整備
- 実験廃液処理施設更新
- 非構造部材耐震(天井・外壁)
- BKCジム熱中症対策

アメニティ

- 学生コンペによるストリートファニチャー(ATM跡地) ▶P.6
- 屋外コモンズ／屋外什器整備 ▶P.22
- バリアフリー(自動ドア・スロープ) ▶P.24
- トイレリデザイン
(ユニオンスクエア・アクロスウイング・メディアセンター・
イーストウイング・ウエストウイング・コラーニングハウスⅠ・
BKCジム・ブリズムハウス・フォレストハウス) ▶P.24
- 食堂什器整備

その他

- 緑地整備(キャンパスプロムナード) ▶P.20
- 理工学部80周年モニュメント ▶P.22
- ヨット部艇庫(滋賀県大津市柳が崎) ▶P.23
- 正門駐輪場開設
- 省エネ対策(LED等)
- グラウンド整備(クインズスタジアム・テニスコート)
- 省エネ対策(井水利用・LED等)

OSAKA IBARAKI CAMPUS

大阪いばらきキャンパス

- | | |
|--------|---|
| 新築 | <ul style="list-style-type: none"> ● 大阪いばらきキャンパス開設 ▶P.27 ● G棟 分林記念館 ▶P.29 ● 国際寮(OIC インターナショナルハウス) ▶P.30 ● OIC フィールド・F棟 ▶P.30 ● 心理・教育相談センター ▶P.31 ● OIC まちライブラリー(B棟) ▶P.31 |
| 既存施設改修 | <ul style="list-style-type: none"> ● 総合心理学部開設(A棟) ▶P.29 ● グローバル教養学部開設(A棟) ▶P.30 ● その他LCC ● アリーナ熱中症対策 ● 人間科学研究科開設 |

RITSUMEIKAN ASIA PACIFIC UNIVERSITY

立命館アジア太平洋大学

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| I棟 時待場 | ● 防災設備更新(自動火災報知器) |
| 緑地整備(Sakura Sky Garden) | ● セキュリティ(電気錠)更新 |
| Quiet Space設置 | ● 防災倉庫整備 |
| トイレリデザイン | ● 防犯カメラ更新 |
| 給水機設置 | ● 非構造部材耐震改修 |
| 空調更新(エアコン) | ● 熊本地震対応補修 |
| 省エネ改修(LED他) | ● 教室等再ゾーニング |
| 屋上防水更新 | ● その他LCC |

AFFILIATED SCHOOLS

附属校

立命館中学校・高等学校

- 長岡京キャンパス開設 ▶P.37
- 教室整備
- その他LCC

立命館宇治中学校・高等学校

- C棟 ▶P.38
- 体育備品倉庫整備
- 非構造部材耐震改修
- 体育施設整備(フットサル防球ネット)
- セキュリティ(電気錠)更新
- 防災倉庫整備
- 体育館熱中症対策
- 電話交換機更新
- 公共下水道引込対応
- サブグラウンド人工芝更新
- アリーナ空調設置
[経済産業省 社会経済活動の維持に資する
天然ガス利用設備導入支援事業(R2年度)]
- その他LCC

立命館慶祥中学校・高等学校

- Co-Tan ▶P.39
- 教室整備
- 体育施設整備(テニス人工芝化)
- トイレリデザイン
[北海道総務部法人局学事課 私立学校施設整備費補助金
(私立学校教育研究装置等施設整備費
(私立高等学校等施設高機能化整備費))、
立命館慶祥中学校・高等学校手洗い設備改修工事(R2年度)]
- 体育施設(屋内練習場人工芝)
- 非構造部材耐震改修
- 屋上防水LCC
- ボイラー更新
- 審査備(国内・海外学生)
- その他LCC

立命館守山中学校・高等学校

- 教室整備 ▶P.38
- セキュリティ(電気錠)更新
- 体育施設整備(屋外バスケットコート)
- 電気設備更新(受変電設備等)
- 防災倉庫整備
- 非構造部材耐震改修
- 電話交換機更新
- 空調更新(エアコン等)
[国土交通省 既存建築物省エネ化推進事業(H31年度)]
- その他LCC

立命館小学校

- 教室整備 ▶P.39
- グラウンド人工芝更新・校庭遊具整備
- 非構造部材耐震改修
- その他LCC

受賞歴

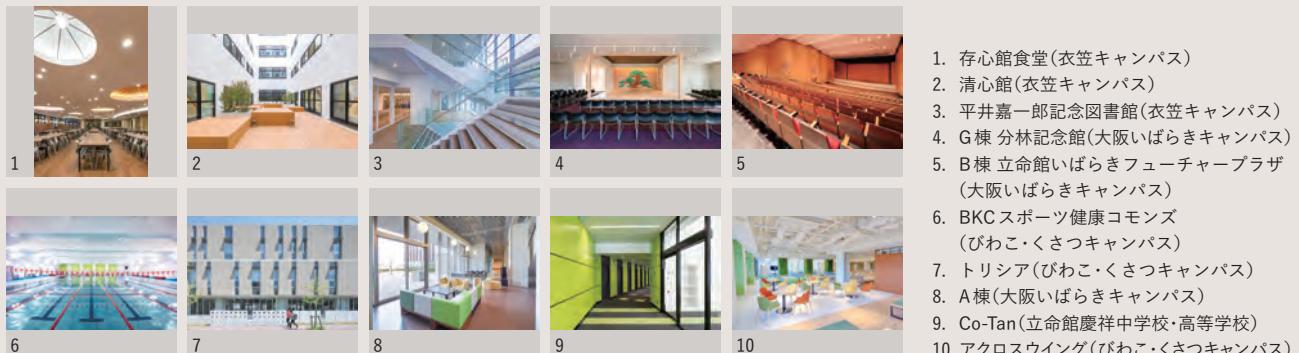
西暦(年度)			京都キャンパス
2015	第4回ガラス防火区画デザイン・コンペ2015準優勝		平井嘉一郎記念図書館
2016	第50回 SDA賞入選		平井嘉一郎記念図書館
2016	DSA 日本空間デザイン賞2016 入選		平井嘉一郎記念図書館
2016	平成28年 照明普及賞		平井嘉一郎記念図書館

西暦(年度)			びわこ・くさつキャンパス
2015	第1回 低炭素な「まちと建物」コンテスト 優秀賞		トリシア
2020	滋賀県低炭素社会づくり賞		立命館大学びわこ・くさつキャンパス
2020	サステイナブルキャンパス賞		コアステーション

西暦(年度)			大阪いばらきキャンパス
2015	グッドデザイン賞(公益財団法人 日本デザイン振興会)		大阪いばらきキャンパス
2015	コージェネ大賞 民生部門特別賞 (一般財団法人コージェネレーション・エネルギー高度利用センター)		大阪いばらきキャンパス
2015	日経ニューオフィス賞:近畿ニューオフィス推進賞 (一般社団法人ニューオフィス推進協会)		大阪いばらきキャンパス
2015	おおさか環境賞(里山活動):協働賞(大阪府)		大阪いばらきキャンパス(OIC 地域連携室)
2015	日本空間デザイン賞:入選(日本空間デザイン協会)		大阪いばらきキャンパス
2015	大阪ランドスケープ賞:大阪府知事賞(大阪府)		立命館大学大阪いばらきキャンパス および岩倉公園の一体的なランドスケープ
2015	第15回読者と選ぶ「建築と社会」賞:入選(日本建築協会)		大阪いばらきキャンパス
2015	サステイナブルキャンパス賞2015建築・設備部門 (サステイナブルキャンパス推進協議会)		大阪いばらきキャンパス
2016	平成27年度リデュースリサイクル推進功労者等表彰 :協議会会长賞(産業環境管理協会)		大阪いばらきキャンパス
2016	大阪都市景観建築賞:審査員特別賞(大阪都市景観建築賞運営委員会)		大阪いばらきキャンパス
2016	環境設備デザイン賞:2016優秀賞 (都市・ランドスケープデザイン部門)(環境設備総合協会)		大阪いばらきキャンパス
2016	第4回インテリアプランニングアワード2016:入選 (日本インテリアプランナー協会)		大阪いばらきキャンパス
2017	電気設備学会賞:施設奨励賞(電気設備学会)		大阪いばらきキャンパス
2017	作品選集(日本建築学会)		大阪いばらきキャンパス
2017	日本建築家協会優秀建築選(日本建築家協会)		大阪いばらきキャンパス
2018	第32回 空気調和・衛生工学会振興賞「技術振興賞」		大阪いばらきキャンパス
2019	第60回 BCS賞受賞(一般社団法人日本建設業連合会)		大阪いばらきキャンパス
2020	公共建築賞 優秀賞(一般社団法人公共建築協会)		大阪いばらきキャンパス
2020	令和2年度おおさか環境にやさしい建築賞		大阪いばらきキャンパス
2020	令和2年度おおさかストップ温暖化賞		大阪いばらきキャンパス

西暦(年度)			附属校
2015	第26回照明普及賞		立命館中学校・高等学校
2016	サステイナブルキャンパス賞2016奨励賞		立命館中学校・高等学校
2017	第31回 空気調和・衛生工学会振興賞「技術振興賞」		立命館中学校・高等学校

表紙写真



1. 存心館食堂(衣笠キャンパス)
2. 清心館(衣笠キャンパス)
3. 平井嘉一郎記念図書館(衣笠キャンパス)
4. G棟 分林記念館(大阪いばらきキャンパス)
5. B棟 立命館いばらきフューチャープラザ
(大阪いばらきキャンパス)
6. BKC スポーツ健康コモンズ
(びわこ・くさつキャンパス)
7. トリシア(びわこ・くさつキャンパス)
8. A棟(大阪いばらきキャンパス)
9. Co-Tan(立命館慶祥中学校・高等学校)
10. アクロスウイング(びわこ・くさつキャンパス)

R2020キャンパス整備報告書

発行日 2022年10月

発 行 学校法人立命館

企画・編集 学校法人立命館 キャンパス計画室／学校法人立命館 総合企画課・管財課

〒604-8520 京都府京都市中京区西ノ京朱雀町1

TEL 075-813-8130／E-mail campus-p@st.ritsumei.ac.jp

R2020
CAMPUS
IMPROVEMENT
REPORT

R RITSUMEIKAN

